

2006 August

Lecture

50

丸の内キャリア塾

Marunouchi Career Academy

Subject MBAとキャリア

丸の内キャリア塾とは、毎月第3火曜日に掲載しているキャリアデザインを考える女性のための実践的学習講座です。毎回ひとつのテーマを掲げ、キャリアアップに必要な実用事例を多面的に特集していきます。今回のテーマは「MBAとキャリア」。ビジネスの第一線で通用する資格として最も注目されているMBAが、いかに実際のビジネス、キャリアアップに役立つかを探ります。

第35回セミナー

MBA

Aの真価を問う

「MBAホルダーに聞く実践論」

七月十八日、NIKKKEI丸の内キャリア塾、第三十五回セミナー「MBAの真価を問う」MBAホルダーに聞く実践論が開催されました。この日お招きしたのは、グロービス経営大学院学長の堀義人さん、津崎事務所・津崎スクール代表の津崎盛久さん、そして日産自動車執行

役員星野朝子さん。東洋大学教授、白石真澄さんの進行のもと、お三方からは次々に興味深い体験談が飛び出しました。MBA取得のきっかけ、そこで何を学んだか、今の仕事にどう役立っているか……など。会場を埋め尽くした参加者たちの、一様に真剣な眼差しが印象的でした。

パネルディスカッション

働きながら学べる通信課程は費用も手ごろ

白石 まずは皆さんがMBAにチャレンジされたきっかけを教えてくださいませんか。

津崎 商社マンだったころ、駐在先でそこそこ実績を上げたこともあって、経営のスペシャリストとしてレクチャーしてこれと言われたことがありません。しかし明確な考えがなく、何を話せばいいのかと戸惑ってしましました。確かに現場で経験は積んだけれど、体系的な理論が身に付いていないことを痛感しました。いずれは起業したいという思いもありましたので、ならばとMBA取得を決意したんです。三十七歳のときでした。

星野 私の場合、きっかけは新卒で入った銀行を辞めたことです。入社三年目に海外支店への異動を願った際、女性を海外に異動させた前例がないから難しいといわれました。その瞬間、辞めようかと笑。その後、大学時代の先生に本場でマーケティングを勉強してほしいと勧められ、米国のビジネススクールの学

費も私のころはそれくらいでしたが、今は二年で十数万円くらい。つまり一千万円は優にかかります。試験はハーバードも面接が中心です。面接のポイントは生き方やリーダーとしての資質、自分の意見を英語で話せるか、自信をもち伝えることができるか、といったことが大切だと思います。

堀 かなり安直ですが、大学時代、偶然出会ったMBAホルダーに「MBAを取れば給料が三倍になる」と教えられて(笑)。別にお金のためだけではありませんが、これは非常にわかりやすかったですね。卒業後商社に入社したときには社内留学制度を利用してしよと決めていました。予定通り米国に留学したのは入社四年目でした。

白石 MBAを目指す人にとっては、入学試験や学費などが気になると思いますが、

星野 私が入った米ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院では、論理的思考力を試すGMATとTOEFLの試験がありましたが、決め手は面接でした。今では笑い話ですが、約束した時間に面接官が現れなかつたんです。困っていたら通りかかった親切そうなおじさんがランチをおごってくれて、食べ終わると「面接は済んだ」。彼こそが入学選考オフィスのボスだったのです。学費は二年間で約四万ドル。貯金も少なく、ほぼ借金でまかれました。

堀 ハーバード・ビジネススクールの学費も私のころはそれくらいでしたが、今は二年で十数万円くらい。つまり一千万円は優にかかります。試験はハーバードも面接が中心です。面接のポイントは生き方やリーダーとしての資質、自分の意見を英語で話せるか、自信をもち伝えることができるか、といったことが大切だと思います。

津崎 私の場合、すぐには会社を辞めるわけにはいかなかった

津崎 同感ですね。企業経営とはとにかく複雑な営みなんです。ヒト、モノ、カネはもちろん、情報、時間、さらには志、情熱、運、などなど、たえずいろいろなることがからんでます。それらを吟味し優先順位を決めて、スピーディーにアクションを起こさないといけない。MBAで学んだことが、今本当に役立っていると思います。自分で勉強会を立ち上げるなどの活動を通じて実践的なスキルを養えたこと、人的ネットワークが広がったことも大きな収穫です。

星野 私は以前リサーチ会社で働いていましたが、当時MBA取得者なんて業界に私だけ。帰ってきた当初は最先端のマーケティングと日本のレベルのギャップを感じ、自分が日本で果たせる役割は大きいかもしれないと思えました。MBAという肩書きやMBAネットワークが仕事の幅を広げることがあるのも事実。それだけでは足りない。虎の威を借る狐みたいなイメージで、国内外の学会や協会に論文を多数発表しました。今のボス、ゴーン(社長)に声をかけられたのも、私の論文が目についたからなんです。

堀 まずはスキルアップを楽しんでほしいですね。能力を高めること、学ぶことは最高のインターンメントですから。第二に能力を高めたなら周囲にさりげなくアピールする工夫をすること。第三に進路を選ぶときには、なぜか縁がある、ワクワクするといった理屈抜き直感も大切にすること。あまり堅苦しく考えないほうがいいと思います。

星野 女性性は結婚、出産、夫の転勤など、いろいろな要素を常に頭に置きながらキャリアを考える必要がある。自分が心から愛情を注げる対象を見つけて、それが最も大切だと思います。仕事が自分の愛情を注げる対象だったら、自分磨きも仕事のための拘束も、すべて、こんなに楽しいことはないと思えるはずですから。

津崎 同感ですね。企業経営とはとにかく複雑な営みなんです。ヒト、モノ、カネはもちろん、情報、時間、さらには志、情熱、運、などなど、たえずいろいろなることがからんでます。それらを吟味し優先順位を決めて、スピーディーにアクションを起こさないといけない。MBAで学んだことが、今本当に役立っていると思います。自分で勉強会を立ち上げるなどの活動を通じて実践的なスキルを養えたこと、人的ネットワークが広がったことも大きな収穫です。

星野 私は以前リサーチ会社で働いていましたが、当時MBA取得者なんて業界に私だけ。帰ってきた当初は最先端のマーケティングと日本のレベルのギャップを感じ、自分が日本で果たせる役割は大きいかもしれないと思えました。MBAという肩書きやMBAネットワークが仕事の幅を広げることがあるのも事実。それだけでは足りない。虎の威を借る狐みたいなイメージで、国内外の学会や協会に論文を多数発表しました。今のボス、ゴーン(社長)に声をかけられたのも、私の論文が目についたからなんです。

堀 まずはスキルアップを楽しんでほしいですね。能力を高めること、学ぶことは最高のインターンメントですから。第二に能力を高めたなら周囲にさりげなくアピールする工夫をすること。第三に進路を選ぶときには、なぜか縁がある、ワクワクするといった理屈抜き直感も大切にすること。あまり堅苦しく考えないほうがいいと思います。

星野 女性性は結婚、出産、夫の転勤など、いろいろな要素を常に頭に置きながらキャリアを考える必要がある。自分が心から愛情を注げる対象を見つけて、それが最も大切だと思います。仕事が自分の愛情を注げる対象だったら、自分磨きも仕事のための拘束も、すべて、こんなに楽しいことはないと思えるはずですから。



【パネリスト】
グロービス経営大学院学長 堀 義人さん
津崎事務所・津崎スクール代表 津崎盛久さん
日産自動車 執行役員 星野朝子さん
【コーディネーター】
東洋大学教授 白石真澄さん

白石 通信課程を選んだ津崎さんの場合、費用はいくらか手ごろだったのでしょうか。通信ならではの苦労もあわせてお聞かせください。

津崎 私の場合、すぐには会社を辞めるわけにはいかなかった

津崎 同感ですね。企業経営とはとにかく複雑な営みなんです。ヒト、モノ、カネはもちろん、情報、時間、さらには志、情熱、運、などなど、たえずいろいろなることがからんでます。それらを吟味し優先順位を決めて、スピーディーにアクションを起こさないといけない。MBAで学んだことが、今本当に役立っていると思います。自分で勉強会を立ち上げるなどの活動を通じて実践的なスキルを養えたこと、人的ネットワークが広がったことも大きな収穫です。

星野 私は以前リサーチ会社で働いていましたが、当時MBA取得者なんて業界に私だけ。帰ってきた当初は最先端のマーケティングと日本のレベルのギャップを感じ、自分が日本で果たせる役割は大きいかもしれないと思えました。MBAという肩書きやMBAネットワークが仕事の幅を広げることがあるのも事実。それだけでは足りない。虎の威を借る狐みたいなイメージで、国内外の学会や協会に論文を多数発表しました。今のボス、ゴーン(社長)に声をかけられたのも、私の論文が目についたからなんです。



白石真澄さん
ニッセイ基礎研究所主任研究員を経て現在東洋大学教授、テレビのコメンテーターとしても活躍中



津崎盛久さん
三菱商事勤務後、豪バンド大MBA統括を経て、津崎事務所を設立



堀 義人さん
グロービス・グループ 代表、グロービス経営大学院学長、グロービス・キャピタル・パートナーズ 代表パートナー



星野朝子さん
日産自動車執行役員、市場情報室室長。早稲田大学理工学部非常勤講師